

子どもの家庭内事故を防ぎましょう！

家庭内には大人が思っている以上に、子どもにとって危険な場所がたくさんあります。危険な場所を事前に把握し、予防対策を実施することで防げる事故はたくさんあります。家庭内で起こりやすい事故を防ぐためのポイントを確認しましょう。

1. 溺水

家庭での溺水は、大人が目を離した際に起こっています。たとえ短い時間だとしても、子どもを浴室に1人にするのは絶対に止めましょう。

【予防と対策】

- ・浴室の出入り口をロックし、子どもが浴室に入れないようにしておく。
- ・子どもが小さいうちは入浴後に浴槽の水を必ず抜くようにする。
- ・子どもを浴室で1人きりにしない。
- ・大人が洗髪中は子どもを浴槽から出す。



2. 誤飲や窒息

子どもの誤飲事故は生後7～8カ月頃から急増し、3～4歳頃までよくみられます。特に10ヵ月くらいになると、手にしたものを何でも口に運ぶようになるため注意が必要です。

また、赤ちゃんは口や鼻が物で覆われてしまっても、自力で物を取ることができないため、布団やレジ袋など思いもよらない物で窒息する場合があります。危険なものは大人の赤ちゃんの周りから遠ざけてあげましょう。

【予防と対策】

- ・タバコや灰皿を置いたままにしない。
- ・ボタン電池やコインを放置しない。
- ・薬や化粧品は引出しや戸棚にしまう。
- ・レジ袋や電気コードを放置しない。
- ・小さな子どもにはピーナッツやアーモンド、枝豆などを与えない。



3. 転落や転倒

乳児は全身に対して頭が大きく重いため、転倒や転落すると頭を強く打ちやすいため注意が必要です。2～3歳になると自分で踏み台を使って上られる場所も増えるため、高さのあるベランダや窓からの転落も起こる可能性があります。

【予防と対策】

- ・ベビーベッドの柵は必ず上げる。
- ・ベッドや椅子、ソファなどの上で遊ばせない。
- ・階段には乳幼児用移動防止柵を取り付ける。
- ・踏み台になりそうなものをベランダや窓の近くに置かない。



もしも、子どもの家庭内事故が発生し、意識や呼吸が無い場合には、すぐに119番通報をしてください。

また、夜間に子どもの急な体調不良により、医療機関の受診について判断に迷ったときは、福島こども救急電話相談「#8000」または「024-521-3790」へ電話し、医師や看護師へ病院受診や家庭で可能な対処法などについて相談することができます。

(相談時間 毎日19:00～翌朝8:00)

石川消防署平田分署 ☎ 55-2213

5月28日(火) 移動献血車が来村します!

～多くの生命を救う献血にご協力ください～

病気やケガで輸血を必要としている方がたくさんいます。ぜひ皆さんの善意を献血にご協力をお願いします。

なお、献血場所と時間は次のとおりです。

採血場所	時間
平田村役場	13:00～14:15
ひらた中央病院	15:15～17:00



《献血のできる方》

1. 年齢 満16歳以上70歳未満の方
(65歳以上の方は、60歳から64歳までの間に献血された方)
2. 体重 男性45kg、女性40kg以上の方
3. 血圧 最高血圧が90mmHg以上の方
4. 間隔 400ml献血＝男性12週間後、女性16週間後
5. その他 現在病気や妊娠中(過去6か月以内に妊娠していた方及び産後6か月以内を含む)でない方、また過去に輸血を受けていない方

健康福祉課 ☎ 55-3119

国民年金だより

－ 20歳以上の学生の方へ －

年金の納付が難しい方は学生納付特例をお使いください!!

学生納付特例のポイント

1. 前年所得が基準以下の学生を対象とした、国民年金保険料の納付が猶予されます。
学生納付特例制度のメリット

- ・老齢基礎年金を受け取るために必要な期間(受給資格期間)に算入されます。
- ・病気やけがで障害が残ったときに障害基礎年金を受け取るための受給資格に算入されます。

※手続きをしないと、病気やけが等万が一のことがあった場合年金が受け取れなくなる可能性がありますので、お早めに手続きください。

対象者

大学生、短大、高等学校、高等専門学校等に在籍する前年所得が基準以下の方。

2. 承認された場合将来受け取れる年金の受給資格に算入されます。
ただし、年金額には反映されませんのでご注意ください。

	老齢基礎年金		障害年金
	受給資格期間への算入	年金額への反映	受給資格への算入
納付	○	○	○
学生納付特例	○	×	○
未納	×	×	×

郡山年金事務所 ☎ 024-932-3434 / 住民課 ☎ 55-3112